

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2, 3	2	選択
担当教員			
根来 宗孝			
火1、水1			
添付ファイル			

科目の概要	本講義において、基礎栄養学分野をさらに深く学修する。基礎栄養分野は人間栄養学を理解するための最も基本となる知識を習得する場である。基礎栄養学とともに、基礎栄養学特別講義を学ぶことにより、人間栄養学の習得がさらに確かなものとなる。
授業の内容	<p>1 栄養の概念・食物の摂取 教科書(第1章、第2章)の栄養の概念、摂食行動を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>2 消化吸収 教科書(第3章)の消化吸収を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>3 栄養素の体内動態(1) 教科書(第3章)の栄養素の体内動態を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>4 栄養素の体内動態(2) 教科書(第3章)の栄養素の体内動態を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>5 炭水化物の栄養(1) 教科書(第4章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>6 炭水化物の栄養(2) 教科書(第4章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>7 脂質の栄養(1) 教科書(第5章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>8 脂質の栄養(2) 教科書(第5章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>9 たんぱく質の栄養(1) 教科書(第6章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>10 たんぱく質の栄養(2) 教科書(第6章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>11 ビタミンの栄養(1) 教科書(第7章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>12 ビタミンの栄養(2) 教科書(第7章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>13 ミネラルの栄養 教科書(第8章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>14 水・電解質の栄養的意義 教科書(第9章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>15 エネルギー代謝 教科書(第10章)を復習し、専門用語を整理しておくこと。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	① タンパク質、糖質、脂質の消化・吸収メカニズムを説明できる。② アミノ酸の代謝とタンパク質の栄養価、糖質の代謝と血糖調節、食物繊維の生理機能、脂質の体内動態・代謝について説明できる。③ 各種ビタミン、ミネラルの生理機能と欠乏症について説明できる。④ 水・電解質の栄養学的意義やエネルギー代謝について説明できる。
授業の方法	配布したプリントやパワーポイントを活用し授業を行う。
成績評価の方法	筆記試験(期末試験)(80%)とするが、授業への参加態度(20%)を考慮に入れて、総合的に判断する。
教科書・テキスト	基礎栄養学 第3版 羊土社 (田地陽一 編)
参考書	奥恒行、柴田克己 編 健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学 改訂第5版 南江堂
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	基礎栄養学についてよく復習しておくこと。
履修上の留意事項	予習復習を心がけること。
オフィスアワー	特に定めないが、事前に連絡をしてから訪問すること。

担当教員への連絡方法	研究室 4-404 メール m-negoro@osaka-aoyama.ac.jp
その他	特になし。